

東北の絆 サロンFMI会

東北の絆 サロンFMI会
会長 木幡 四朗

発足の想い

- 2013年8月27日に初の会合を実施。
東北3県の頭文字を取って会を発足しました。現在、町田市に避難している200名以上の方のうち、80名程が登録しています。
- 避難の理由は様々ですが、同じ地域に避難している同士で助け合いながら、少しでも明るく楽しく過ごしてもらいたいと思って活動しています。
帰れない事を心配するよりも、今を楽しもう！と。
- 浪江町からの避難者が比較的多いのですが、原発関連の話は会全体の中ではしないようにしています。

福島 ⇒ F
宮城 ⇒ M
岩手 ⇒ I

主な活動と協力団体

- **楽しいイベントの実施**

親子の孤立化防止も目的に、週末に楽しく参加できるイベントを実施しています。会のみinnで企画を考えています。

(ダリア園散策、そば打ち、絵手紙など)

- **他のサロンへの参加**

月に2回、町田市社会福祉協議会が主催の避難者サロンや地域のサロンに参加している人もいます。

- **協力団体の存在**

町田市内や近隣の神奈川県ボランティア団体と連携してイベントなどを行っています。それらを通じて、地域住民との交流も増えています。

(どんぐり会、浜通りの会、じゃおクラブ、県人会など)

連絡先の分からない避難者には、社協の方の訪問時に会の紹介をしてもらっています。

会の特徴

- **誰でも、どこからでも参加できるオープンな会**

会員は町田市内に避難されている方ですが、会のイベントにはどなたでも参加できます。先日は、九州からも参加者がいました。

- **他地域の自主グループ等との連携**

他の地域での自主グループのサロンや交流会、イベントにも積極的に参加し、その情報を会員に案内しています。希望があれば一緒に参加もします。また、FMI会のイベントの案内を行い、色々な地域に避難している方との交流を図っています。

- **今後の予定 ～ ぜひご参加下さい！～**

12月7日(土)BBQ大会 in 東林BBQ場(11:00町田駅集合)

2014年2月 足湯 (予定)

2014年3月 カラオケ大会 (予定)

今後に向けた課題

- **継続した活動**

避難が長期化し、少しずつ考え方も変わってきています。

小さなサロンでは人が集まらず、会がなくなっているとも聞きます。必要がなくなつての解散となるまでは、協力団体の支援プログラムも活用しながら継続していきたいと思ひます。

- **助成金の使い勝手**

現在、被災県や市の助成金を活用していますが、使用用途の制限などもあり、活動内容と一致しないなどの苦勞があります。

- **避難状況の違い**

同じ避難者でも、福島県の中では数年は絶対帰れないと分かっている地域があります。帰れない状態が続くこと自体が大変な状況です。

最後に…

絆とは、与えられるものではない。
お互いに、お互いを想い、
自分達でつながりを大切にすること。

そんな想いで、これからも活動していきます。

Thankyou